

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	西淀川区
学 校 名	大阪市立川北小学校
学校長名	吉岡 千明

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・川北小学校では、第6学年 60名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率については、国語は、全国平均より5.2ポイント、大阪市平均より5ポイント、算数は、全国平均より4.5ポイント、大阪市平均より4ポイント下回っている。算数・国語は、令和4年度の平均正答率と比べ、全国平均との差が、国語で0.4ポイント、算数で0.7ポイント縮まり、大阪市平均との差が、国語で1ポイント広がり、算数は前年度と同様であった。

平均無解答率については、国語は、全国平均より0.7ポイント、大阪市平均より2ポイント、算数は、全国平均より0.2ポイント、大阪市平均より0.5ポイント高かった。

質問紙調査において、肯定的回答が全国平均・大阪市平均を上回っていたのは、「朝食を毎日食べている」であり、全国平均・大阪市平均を下回っていたものは、「自分にはよいところがある」、「将来の希望（夢、目標）」、「進んで困っている人を助ける」、「学校に行くのが楽しい」等である。

また、「国語・算数の学習が好きである」、「読書が好きである」と肯定的回答をした児童の割合は、全国平均、大阪市平均を上回った。「計画的な家庭学習」、「ICT機器は学習に役立つ」は、全国平均を下回ったが、大阪市平均は上回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕学習指導要領の内容別に見ると、どの事項に関しても全国平均及び大阪市平均を下回っている。特に差が大きかったのは「読むこと」で、全国平均より10.9ポイント、大阪市平均より9.6ポイント下回っている。また、令和4年度の差と比べて7ポイント以上の開きが見られた。差が小さかったのは「書くこと」「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」の2項目だった。「書くこと」は全国平均より2.6ポイント、大阪市平均より0.1ポイント下回った。「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国平均より0.9ポイント、大阪市平均より1.4ポイント下回った。「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」に関しては、令和4年度の差と比べると7ポイント以上縮まっており、改善が見られた。このことは、書く力を軸とした授業改善に取り組んできた成果であるといえる。

〔算数〕学習指導要領の領域別に見ると、どの領域に関しても全国平均及び大阪市平均を下回っている。特に差が大きかったのは「Dデータの活用」で、全国平均より7.0ポイント、大阪市平均より5.1ポイント下回っており、令和4年度よりも差が開く結果となっている。差が小さかったのは「A数と計算」で、全国平均より2.7ポイント、大阪市平均より1.5ポイント下回っているが、令和4年度と比べて差は大きく縮まっている。

今後は、身につけた知識・技能を活用して課題を解決する力や自分の考えを説明する力を育てていく必要がある。

質問紙調査より

「朝食を毎日食べている」(94.8%)、「読書が好き」(77.6%)、「国語の学習が好き」(65.6%)、「算数の学習が好き」(62.1%)と肯定的回答をする児童の割合が、全国平均、大阪市平均を上回った。一方、「自分にはよいところがある」(70.7%)、「将来の夢や目標を持っている」(79.3%)、「人が困っているときは、進んで助ける」(86.2%)、「学校に行くのは楽しいと思う」(70.7%)と肯定的回答をする児童の割合は、全国平均、大阪市平均を下回った。「学習の中でPC、タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」(94.8%)「家で計画を立てて勉強をしている」(63.8%)と肯定的回答をする児童の割合は全国平均を下回ったが、大阪市平均を上回った。本校の児童は学習に向かう意欲やICT機器の活用に対する意識の高さがうかがえる。

今後は、児童の前向きな姿勢を活かした教育活動を展開し、児童一人ひとりが自己肯定感や自尊感情を高めることができるように手立てを考える必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

国語、算数ともに、習熟度別少人数指導の充実や個に応じた指導を進めていくことで、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。その基礎力を土台とし、他者との対話や協働を通して、様々な課題を発見したり、最適解や納得解を導き出したりする力を養う。

学習に取り組む中で、児童が知的的好奇心や自己肯定感を高められるよう、授業研究や研修を進める。また、教員の授業力・指導力向上を図るとともに、全教育活動において、自分のよさに気づき、他者理解を深める機会を多く設け、自他を大切に児童を育てていく。

今後は、デジタルドリルやオンライン学習等の有効活用を図ることで、自ら計画を立てて学習する習慣を身につけさせるとともに、自主的に学びに向かう態度を育成する。

【 全体の概要 】

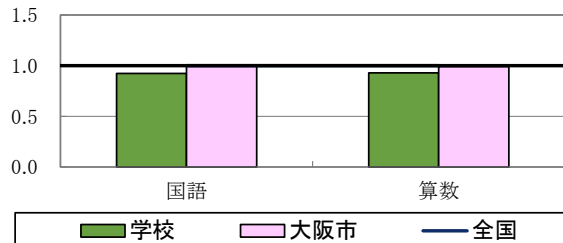
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	62	58
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

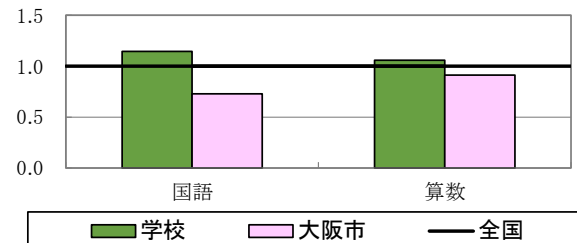
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	5.5	3.6
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



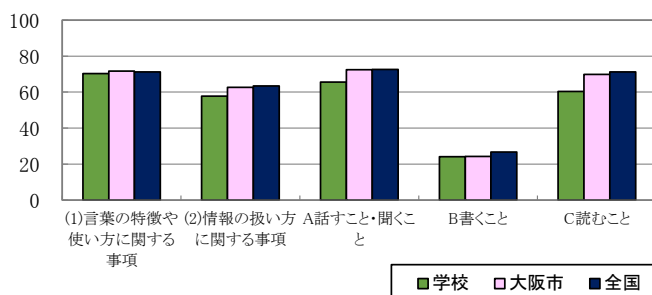
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	5	70.3	71.7	71.2
(2)情報の扱い方 に関する事項	2	57.8	62.6	63.4
(3)我が国の言語 文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	65.5	72.4	72.6
B 書くこと	1	24.1	24.2	26.7
C 読むこと	3	60.3	69.9	71.2

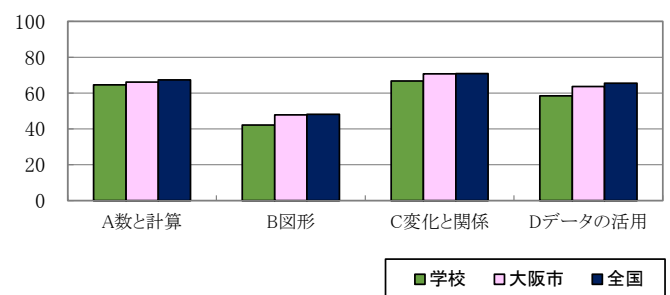
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	64.6	66.1	67.3
B 図形	4	42.1	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	66.7	70.8	70.9
D データの活用	3	58.5	63.6	65.5

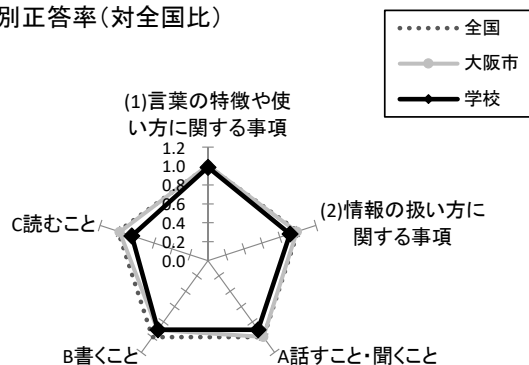
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



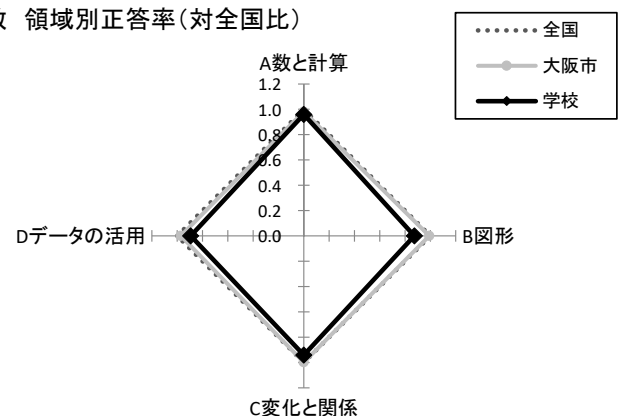
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

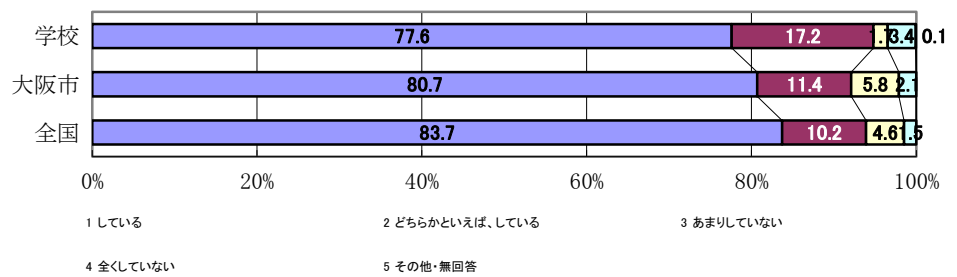
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

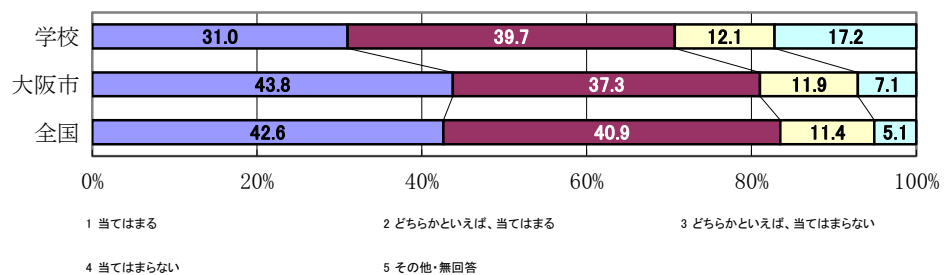
1

朝食を毎日食べている



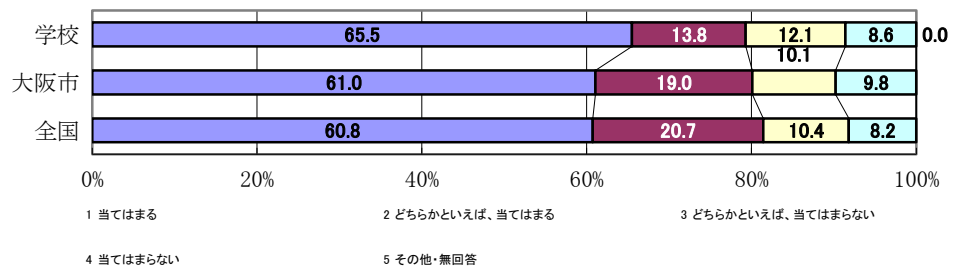
4

自分には、よいところがあると思う



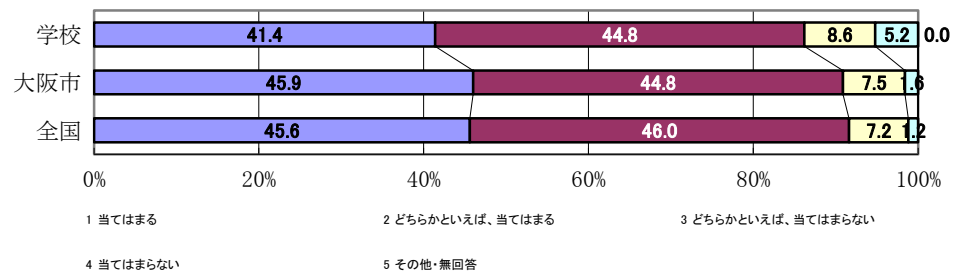
7

将来の夢や目標を持っている



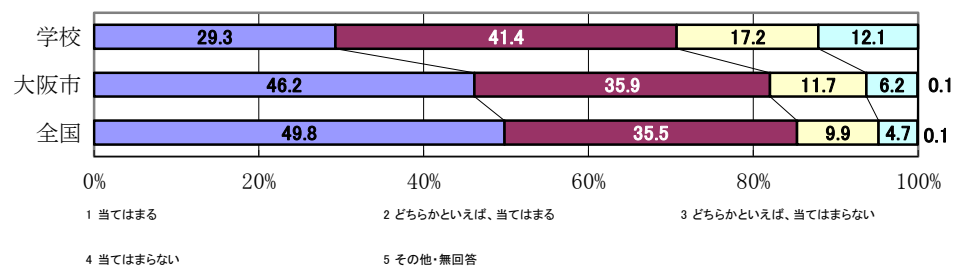
8

人が困っているときは、進んで助けている



12

学校に行くのは楽しいと思う



児童質問紙より

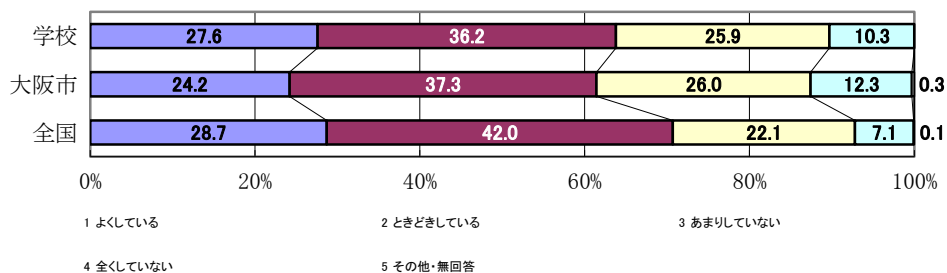
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

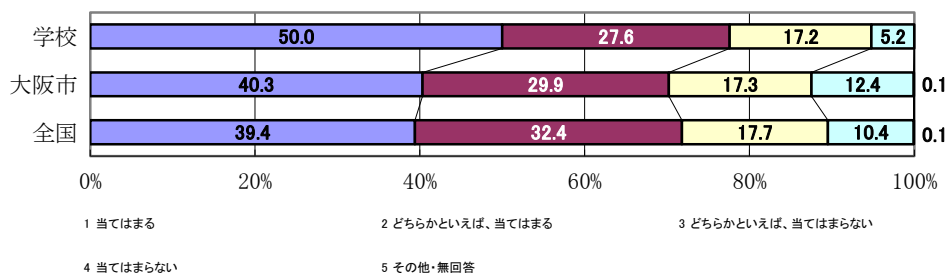
16

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)



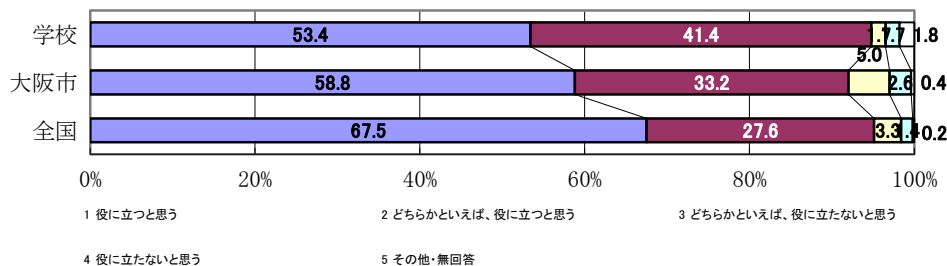
24

読書は好きですか



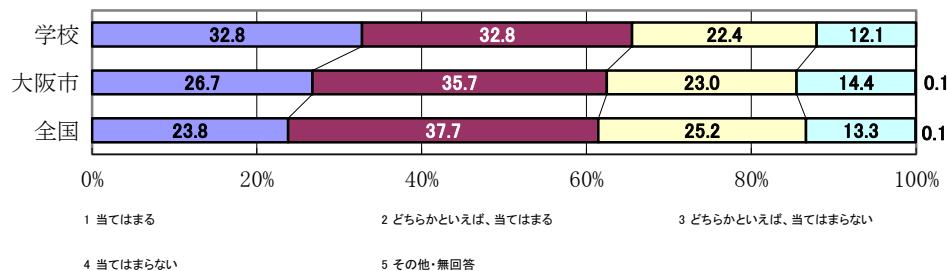
30

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



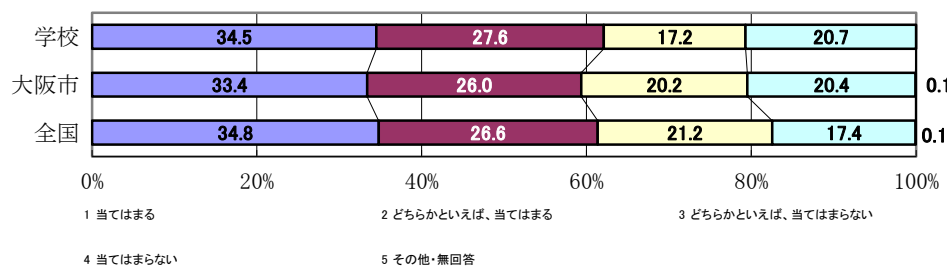
43

国語の勉強は好きだ



51

算数の勉強は好きだ



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

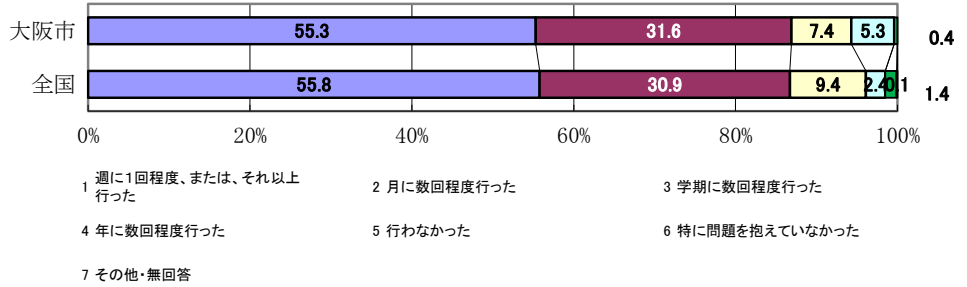
質問番号

質問事項

15

校長として、よりよい学校運営を行うために、前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

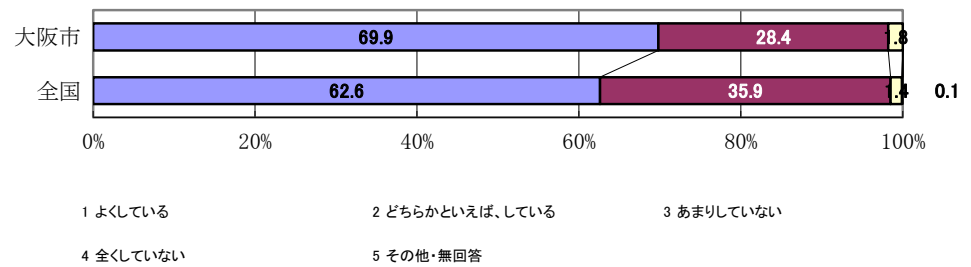
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



22

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

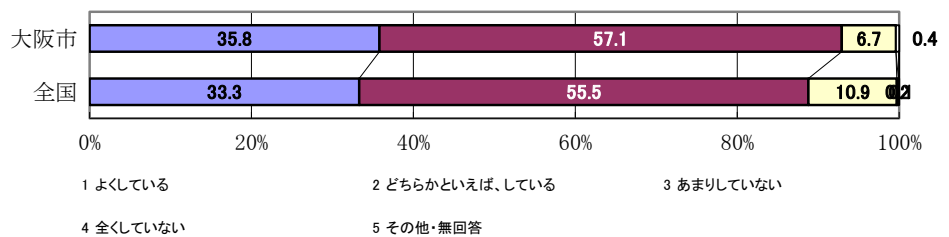
学校 「どちらかといえば、している」を選択



23

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている

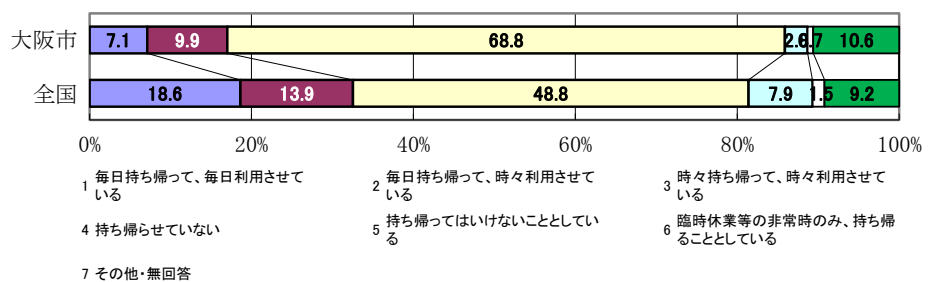
学校 「どちらかといえば、している」を選択



63

あなたの学校では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

学校 「時々持ち帰って、時々利用させている」を選択



72

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか

学校 「参加している」を選択

